



ピー子通信

VOL.03



ピー子の日記

マチイ企画ピー子会員担当主任

出雲 裕史 (イズモ ヒロシ)

暑い暑いと呻いていたのはいつの事だったでしょうか？ここ葛川では朝夕の風も冷たくなく、部屋の隅にしまい忘れられた扇風機が所在なく、街の公園の水の止まった噴水のような気が恥ずかしさも漂わせ、夏には視線を投げかけることもためらわれた室内洗濯物干し場と化している一隅のタオルをかぶった薪ストーブやホコリにまみれた煙突が急に頼もしく、いとおしく思われ、その存在を無視し続けていたかのような先日までの自分の振る舞いに感じる決まり悪さも、生命の危険すら覚えることがある冬の凍てと豪雪の記憶に瞬く間にかき消され、「君が溶けるまで焚いてやるよ」とどこかの安物の昼メロで聞いたような聞かなかったような狂った台詞も出てきそうな、暑さと寒さの強烈なイメーヂだけが居残り、そのどちらへも積極的に向き合えないそんなセンチな季節となり、我が家の鶏たちも産卵を控えることでそれに敏感に反応しており、小さきピー子たちも生まれて始めて体験するであろう厳しい冬の予感を、そして私の気持ちの焦りを、日増しに大盤振舞いされていく餌の量から察していることと思われませんが……？いえいえ、畑で元気に草をつつき、走りまわるヒナたちも、遊びに夢中で腹を空かせて戻る我が家の子供たちも私の感傷ごっこには付き合ってくれなさそうなので、みなさんいかがお過ごしですか？

アラウンド the ピー子 es (ピー子を見守る環境と人々)

ピー子鶏舎がある大津市葛川(カツカ)地域を紹介します。琵琶湖に注ぐ安曇川水系の上流、比良山系と京都北山に挟まれた谷間の山村ですが、古くより若狭小浜より京都へと多くの行商人の行き交う賑やかな街道として知られています(若狭街道・鯖街道)。おいしい水と空気、夜の静けさは折り紙付きです。このストレスの少ない環境が、ピー子たちが健康にたくましく育つのにきっと大きな意味を持つと思っています。



我家。軽トラの後ろから一段上の畑とピー子ハウスに上ります。(左写真)

家の前から向かいの山々を望む→



長男マロ

ピー子たちを守る親衛隊3人組↓



夏バテ気味のサル追い犬ニコ



次男坊ミッチー

今日のピー子。(9月15日)



今日はピー子たちと一緒に畑の中で遊びました。やはり生きている草は鮮度が違っておいしいのかヒナ鳥たちは夢中に食べていました。果たして畑の中の野菜達は無事に育つのか？

野菜がピー子たちに狙われないように子供たちが監視していましたが…追いかけてこについで夢中になって畑を荒らしてしまうミッチー&マロでした。



そこでお姉ちゃん(次女めぐる5歳)が登場。大好きなハスクマトを守るため気合が入っています。ちゃんと大根も見張ってくださいよ。

天気予報では台風の接近により明日から天気が荒れる模様。しばらく外に出られなくなるので今日は一日ゆっくり畑で過ごしましょう。子供たちは明日の運動会をとて楽しみにしています。京都からおじいちゃんやおばあちゃんがお弁当を作って見に来てくれます。家中に吊るされた照る照る坊主は応援してくれるのでしょうか？



***** お知らせ *****

10月29日(日)に『第2回トリの解体体験教室 at マチイハウス』が催されさす。前回借しくも日程が合わなかった方はこの機会に是非ご参加ください。同時にマチイハウス燻製工房による『スモーク教室』も開く予定ですので興味のある方はお近くのマチイ企画スタッフか以下のアドレスへご連絡ください。 mkikaku@machii-house.com